

沖縄の「明日の旅」をデザインするプロジェクト

OKINAWAアスノタビPT

プロジェクトチームの目的	・観光を推進することで懸念される環境（自然、文化、暮らし）への悪影響を防ぎ、持続可能な観光の在り方（エシカルトラベル）の発信を通じて、沖縄の豊かな自然と文化を未来に継承していく ・沖縄を訪れる観光客や、受け入れる地域、観光事業者に、新しい旅のスタイル（エシカルトラベル）の情報提供や、体験機会を創出する				
解決したい課題	・観光を推進することによって懸念される環境（自然、文化、暮らし）への悪影響（いわゆるオーバートーリズム問題） ・観光業に携わる若手人材の不足				
関連するゴール	    	活動期間	令和7年4月～令和8年3月		
おきなわSDGsアクションプランとの関係性	優先課題④	④ー1	魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地（サステナブル・ツーリズム等）の形成を実現する。		

1年間の活動概要

- ・「学生×企業 おきなわSDGs協創プロジェクト」を通じて、沖縄の高校生たちと「エシカルトラベル」を浸透させるための発信方法やガイドブックの制作に取り組みました。
- ・団体としては、大宜味村観光協会と共に、「平南川ター滝」を持続可能な観光地として認識してもらうための発信プロジェクト（環境省事業、案内動画の作成やホームページの刷新など）や、竹富町における新しい地域芸術祭の立ち上げ（沖縄県サステナブルツーリズム推進事業）などを行いました。

1年間の活動成果

- ・沖縄の高校生と、「エシカルトラベル」を浸透させるための発信方法（伝わりやすいコピーやイラスト、絵本、ショート動画など）に取り組み、実際に取材、作成しました。



今後の展望

- ・地元の高校生の目線から「エシカルトラベル」の発信方法についてのアイデアを出してもらい、実際に制作する過程でさまざまな学びがありました。今後も多様な目線から、「エシカルトラベル」の発信方法についてのアイデアを集め、実践していきたいと思います。